

第55回日本農業新聞全国大会で大反響！

FAX書類の入力作業をぐっとラクに！ 業務用イメージスキャナー×AI-OCRが JA業務のDX化を強力サポート



株式会社PFU（代表取締役 社長執行役員：平原 英治）は、2025年5月8日（木）、東京都千代田区のホテルニューオータニ東京で開催された「第55回日本農業新聞全国大会」にて、いるま野農業協同組合（以下、JAいるま野）様における「RICOH fi Series」（以下、fiシリーズ）およびAI-OCRソフトウェア「DynaEye 11」導入事例をはじめ、誰でも扱いやすい操作性やJA様の紙書類を取り扱う業務を効率化できる方法についてご紹介しました。



ご来場者様にご好評いただいた

3つの注目ポイント！

手間の多い紙業務やFAX書類も「これなら！」と現場で驚きの声を多数いただきました。ご来場者からの反響が特に大きかった3つの注目ポイントをご報告します。展示を通じて、会場では活発なご質問や前向きなご意見を多数いただきました。

※ドキュメントスキャナを対象とする。日本・北米はKEYPOINT INTELLIGENCE社（InfoTrends）により集計（2023年実績）ドキュメントスキャナ集計よりMobile/Microを除く6セグメントの合計マーケットシェア（主に8ppm以上のドキュメントスキャナ全体）欧州はinfoSource社（2023年実績）の集計に基づく、西欧地区（トルコとギリシャを含む）におけるシェア



fiシリーズ
詳細は
こちら



誰でも迷わず使える
業務用イメージスキャナー
【fiシリーズ】



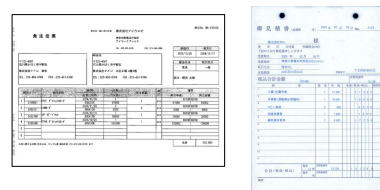
■ 生産者もかんたん操作で、迷わずご利用いただけます

JA導入効果・実績あり
【fiシリーズ × DynaEyeシリーズ】



■ 各支店で行っていた作業を本部に集中処理することで、作業効率を向上を実現

FAXやドットプリンター書類にも対応
JA現場の悩みに答えるAI-OCR
【DynaEye 11】



■ FAXやドットプリンターなどで印刷された印字状態の良くない活字を高度に認識

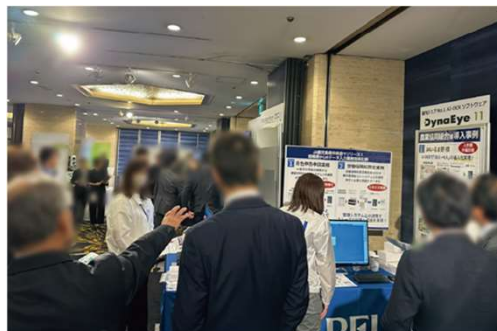
DX推進と業務改善につながる現場起点の実践事例

本展示では、DX推進に向けた具体的な事例を以下の3つの切り口でご紹介しました。

これからのJA業務に広がる可能性 ——FAX書類やドットプリンターも読み取れるAI-OCR機能を先行紹介

2025年5月20日に機能強化を発表した「DynaEye 11」のFAX書類の活字やドットプリンターによる印字の読み取り性能を参考展示としてご紹介。ブースを訪れたJAの皆様からは「別の業務でも使えそう」「現場に応じて柔軟に使えるのが魅力」といった声が寄せられました。

特に、生産者や市場とのやり取りでFAXやドットプリンターによる書類が今なお主流である現場においても、文字を高度に認識できる「DynaEye 11」の有効性に注目が集まり、実際の業務で使える最新テクノロジーとして高い評価をいただきました。



【事例紹介】現場38人分の業務を4人に集約 ——AI-OCRで進める購買の業務改善

(JAいるま野様)

JAいるま野様では、従来38の支店で手入力していた紙の購買申込書を、「fiシリーズ」と「DynaEye 11」を用いて本店に集約し、業務改善。

これにより、**38人から4人への大幅な省人化と、支店業務の効率化・標準化**を実現しました。

詳細は
こちら



【事例紹介】誰でもスキャンできるから続けられる ——農業管理の“安心”と“時短”を両立

(道の駅 芦北でこぼん様等)

道の駅 芦北でこぼん様等では、手書きの栽培管理シートを「fiシリーズ」で読み取り、「DynaEye」が組み込まれている「栽培日誌管理システム」で農業データベースと自動照合する仕組みを導入。

ITに不慣れな方やご年配の生産者でも簡単に操作できることが特長で、現場運用に即した効率化を実現しています。

詳細は
こちら



今後の展開とさらなる取り組み

当社は今後も、JAグループの皆さまの業務課題に寄り添い、現場から着実に進められるDXの実現を支援してまいります。豊富な実績や導入事例に裏付けられた信頼性と、パートナー様との連携によるソリューションを通じて、業務の標準化・効率化・安心運用を共に進めてまいります。

「DynaEye 11」が、さらに便利に

一般的に認識が難しいとされるFAXやドットプリンター印字もDynaEye 11の高度なAI-OCR技術で正確にデータ化

AI-OCRソフトウェア

DynaEye 11

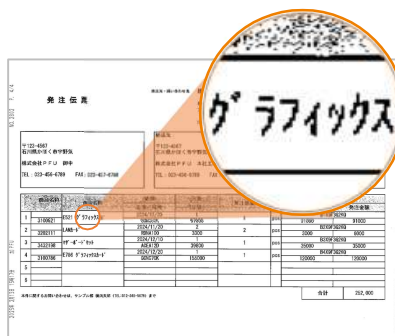


詳細は
こちら

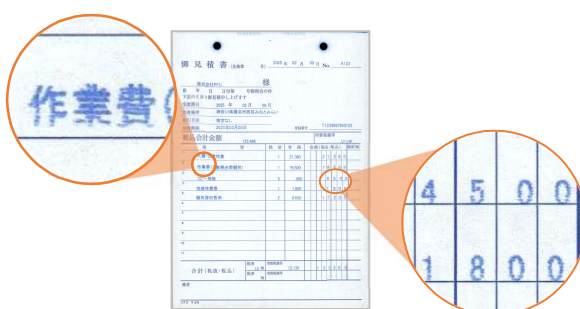
「DynaEye 11」は、紙や画像の文字を高精度で認識、手入力の負担を軽減し、業務効率化を実現。

自治体・金融機関・JAなど幅広い業種で、累計8,500社以上にご導入いただいています。

■ FAX※による文字のカスレ



■ ドットプリンターで発生しやすい薄い文字や罫線と接触している文字も高度に認識



※極端な拡張や大きくゆがんだ書類は認識できません。

株式会社 PFU

お問い合わせはこちら

<https://www.pfu.co.jp/dynaeye/inquiry.html>



■ 横浜本社 ☎(045) 305-6000

〒220-8567 横浜西区みなとみらい4-4-5(横浜アイマークプレイス)

■ 北海道オフィス ☎(011) 242-2212

■ 東海オフィス ☎(052) 232-2435

■ 東北オフィス ☎(050) 3786-2204

■ 関西オフィス ☎(06) 6152-8153

■ 北陸オフィス ☎(050) 3819-9160

■ 九州オフィス ☎(050) 3819-9180

記載されている製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。仕様は改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。